

令和4年度 宝達小学校 学校経営方針

- 1 教育目標 「主体的に学び、心豊かに逞しく生きる児童の育成」
- 2 経営方針
「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「安心・安全な環境」「学校・家庭・地域の連携」の具体を推進し、児童の成長がわかる学校をめざす。
- 3 本年度の重点
 - ・基礎基本の定着をもとに、主体的対話的で深い学びのある授業を展開し、確かな学力の定着を図る。
 - ・GIGAスクール構想への理解を一層深め、児童の学びを支援する環境の充実を図る。
 - 児童の成長がわかる学校
 - 教師の指導力の向上がわかる学校
 - チームとして組織が動き、業務改善を実践する学校
- 4 具体的な取組
 - (1) 繋がりのある授業を通して、学ぶ楽しさを体感するとともに確かな学力の定着をめざす。
 - ・年間一人1回以上の研究授業を行い、授業力の向上を図る。
 - ・授業のねらい達成のため、ICT（電子黒板・一人1台端末）の効果的活用を図る。
 - ・学びのルールを徹底する。（「はい」「最後まで話を聞く」「最後まで話す」）
 - (2) 人とのかかわりを通して、心豊かな児童の育成をめざす。
 - ・繋がりのある道徳の授業の工夫・改善を図る。
 - ・大きな声で挨拶ができる児童の育成に努める。（立ち止まって、相手の名前を言って、挨拶をする）
 - ・縦割り班活動を積極的に取り入れ、全校児童の交流を深める。
 - ・本に親しむ習慣によって、正しい言葉を活用し、感想交流を通して人とのかかわり合いができる児童を育成する。
 - (3) 自分の健康に関心をもち、健やかな身体の育成をめざす。
 - ・学校生活を通して、自分の健康に関心をもたせる。
 - ・年間を通した体力づくりを実践する。
 - ・児童が「進んでしたくなる、やりたくなる」取組の企画や声かけに努める。
 - ・児童の家庭生活の基本である「早寝、早起き、朝ごはん」を大切にする。
 - (4) 安心・安全な学習環境づくりをめざす。
 - ・児童の命を守ることを最優先と認識し、自然災害・火災・原子力等の防災や不審者対応等の訓練を行い、「自分の命は自分で守る」ことの意識を徹底する。
 - ・食物アレルギー、心肺蘇生・AED対応訓練を通して、危機管理能力の向上を図る。
 - ・PTAや地域、関係機関と連携した児童の見守り活動を推進する。
 - ・いじめや不登校に対して、児童の実態把握に努め、家庭と連携しながら、即時対応する。また、個に応じたチーム対応を推進する。
 - (5) 家庭・地域と連携し、協働する学校をめざす。
 - ・家庭、地域へ積極的に情報を発信する。（学校報や学年だより・HP等）
 - ・学校、家庭、地域を結ぶ「学校支援ボランティア」との連携を構築する。
 - ・「マイ弁当」の日を設け、お手伝いや家庭の絆づくりを喚起する。
 - ・PTA総会等を通じて、本校の教育に対する説明及び結果責任を果たす。